

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【公開番号】特開 2017-125293 (P2017-125293A)

【公開日】平成 29 年 7 月 20 日 (2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報 2017-027

【出願番号】特願 2017-41236 (P2017-41236)

【国際特許分類】

D 0 1 F 1/10 (2006.01)

D 0 1 F 8/04 (2006.01)

D 0 1 F 8/14 (2006.01)

D 0 3 D 15/00 (2006.01)

D 0 4 B 1/16 (2006.01)

D 0 4 B 21/16 (2006.01)

【 F I 】

D 0 1 F 1/10

D 0 1 F 8/04 B

D 0 1 F 8/14 D

D 0 3 D 15/00 E

D 0 4 B 1/16

D 0 4 B 21/16

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 21 日 (2017.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発熱性微粒子（但し、酸化ジルコニウム、カーボン、及び炭化ジルコニウムを除く）及び遠赤外線放射性微粒子を含有し、

芯鞘構造を有し、鞘部に含まれる前記遠赤外線放射性微粒子及び前記発熱性微粒子の含有量が鞘部 100 質量部に対して、それぞれ 2.5 質量部以下であることを特徴とする、機能性繊維。

【請求項 2】

発熱性微粒子及び遠赤外線放射性微粒子（但し、タルク、マイカ、及び酸化錫を除く）を含有し、

芯鞘構造を有し、鞘部に含まれる前記遠赤外線放射性微粒子及び前記発熱性微粒子の含有量が鞘部 100 質量部に対して、それぞれ 2.5 質量部以下であることを特徴とする、機能性繊維。

【請求項 3】

遠赤外線放射性微粒子が鞘部に含まれ、発熱性微粒子が芯部又は鞘部に含まれている、請求項 1 又は 2 に記載の機能性繊維。

【請求項 4】

遠赤外線放射性微粒子及び発熱性微粒子が鞘部に含まれ、遠赤外線放射性微粒子の含有量が鞘部 100 質量部に対して 0.1 ~ 2.5 質量部であり、発熱性微粒子の含有量が鞘部 100 質量部に対して 0.1 ~ 2.5 質量部である、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の

機能性繊維。

【請求項 5】

芯鞘の重量比（芯／鞘）が 95 / 5 ～ 15 / 85 である、請求項 1 ～ 4 いずれかに記載の機能性繊維。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 いずれかに記載の繊維を含む糸条。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の糸条を含む布帛。

【請求項 8】

カバーファクターが 850 ～ 3500 である、請求項 7 に記載の布帛。